

正泉寺・五郎田遺跡 発掘だより

第1号 2024.5.28

令和6年度の発掘調査が始まりました

座光寺上郷道路建設に伴って、正泉寺遺跡・五郎田遺跡の発掘作業を4月から開始しています。正泉寺遺跡・五郎田遺跡は飯田市座光寺に位置し、土曾川左岸の微高地上に隣り合って立地します。これまで、正泉寺遺跡は発掘調査歴はありませんが、昭和38年に弥生時代中期（約2,000年前）の土器や石器が偶然発見され、弥生時代・古墳時代・平安時代・近世の遺物散布地として知られていました。令和2年～4年に長野県埋蔵文化財センターで確認調査を行ったところ、弥生時代や古墳時代の建物跡や土坑がみつき、集落の広がりを見ることができました。五郎田遺跡は令和3年度からリニア中央新幹線建設や国道153号拡幅に伴って、継続して発掘調査が行われています。



これまでに、今年度調査地の約半分の表土掘削を行い、おもに古墳時代の^{たてあな}竪穴建物跡15軒、土坑数基などを検出しています。また、それらの^{はじき}竪穴建物跡からは、土器の^{かめ}甕や^{つき}坏、^{たかつき}高坏、^{すえき}須恵器の^{ませいせきそく}坏、^{といし}磨製石^{じかん}鏃や砥石、銅製の耳環などがみついています。

調査のようす



遺構の検出作業

両刃鎌で表面を削り、土の色や質の違いから、遺構をみつけていきます。



遺構精査 1

一辺約4mの四角形の黒色土の落込みを見つけました。試し掘りをして、どんな土がどのように堆積しているのかを確認します。



遺構精査 2

土の堆積を観察するためのベルトを残して掘り下げます。赤く土が焼けている火床が見つかったことから、建物跡だとわかりました。



遺物出土状況

黒色土を除去したところ、床面から多くの土器が見つかりました。土器の特徴から、古墳時代後期（約1,500年前）と考えられます。

期間中、大型重機等の車両が入り出しますので十分ご注意ください。また、調査区域内には危険な場所もありますので、許可なく立ち入らないようにお願いします。発掘の見学を希望される場合は、事前に担当者までご連絡ください。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



お気軽に
お声掛け
ください

長野県埋蔵文化財センター 飯田支所

〒395-0151 飯田市北方297-5

電話：0265-49-0736

メール：maibun@naganobunka.or.jp

H P：<https://naganomaibun.or.jp/>

担当：長谷川/綿田